



## 2病棟の子どもたちの生活のひとコマ



### スマイルフラワー展 2023 春の作品

ピーチクパーチクと賑やかに鳥たちが鳴き始め、気持ちよさそうに大空を飛び回ると、春の訪れを感じますよね。そこで、今回は色とりどりの羽根を身につけた「カラフルバード」を2病棟の子どもたちと作りました。

春らしい色や自分が好きな色など、数ある色の中から「これだ!」と思う色を選んで使う子どもたちは本当に色彩感覚が豊かであり、本物の鳥に匹敵する出来栄えの「カラフルバード」となりました。ふんわりとした羽根を表現するために使った和紙が良いアクセントになっています。

この「カラフルバード」のように春の新生活がカラフルに彩られ、充実した毎日を子どもたちには過ごしてもらいたいです。売店近くの渡り廊下エリアの出窓のところに展示してある「2病棟スマイル😊フラワー展」へと足を運び、是非子どもたちの作品をご覧ください。

鳥つながりで、羽毛をまとったようにふわふわとした風合いに



仕上げた三重病院のキャラクターである「みえツうちゃん」も一緒に飾ってありますのでお楽しみに。

(保育士 伊藤 真衣)

## 5病棟の生活のひとコマ 77

寒さも落ち着き、ようやく春らしい暖かくて過ごしやすい時期がやってきましたね。季節の変わり目でもありますので、皆様も体調など崩さぬようお身体に気を付けてお過ごしください。

さて5病棟では、3月13日に病棟行事としてフラワーフェスティバルを開催しました。今回はじめて企画した行事でしたが、患者さんに春を感じていただきたいという願いを込めて、桜をはじめさまざまな種類のお花の製作物を会場中に飾りつけました。フラワーロード、ミニゲーム、記念撮影、おやつコーナーなど各コーナーは、患者さんが楽しく参加できるよう工夫をしました。感染防止対策をしながらご家族の方にも一緒に参加していただき、患者さんの嬉しそうな笑顔がたくさん見られた一日となりました。

新行事ということもあり私たちスタッフもドキドキでしたが、患者さんやご家族の方々に楽しんでいただけたようで本当によかったです。参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。(児童指導員 森 日奈子)



## 通所支援事業のひとコマ

日に日に春が深まってきましたね。通所支援では児童発達支援をご利用の幼児さんお二人が、3月末に無事卒園を迎えました。



お一人は呼吸器をつけたお子さんです。おしゃべりが上手で、数字やひらがなの練習、立位訓練、トイレ

トレーニングなどに取り組みました。スタッフ顔負けの観察力で、スタッフより先にいろいろなことに気づいて、教えてくれることもたくさんありました。4月からは地域の小学校に通います。

もうお一人のお子さんは経管栄養の状態でも利用し始めました。お母さんと一緒におうちでも経口摂取の練習に取り組み、通所では給食(ミキサー食)が食べられるようになりました。ことばの理解も進み、指さしや発声でやりたいことを少しずつ伝えられるようになってきました。4月からは特別支援学校の小学部に通います。

お二人とも大人の利用者に交じってのご利用でしたが、おにいさん・おねえさん利用者も子どもの話し声や笑い声が聞こえると嬉しいようで、一緒にニコニコしたり、声のする方に視線を向けたりしてくれていました。

ということで、通所支援では少し空席ができたので、新しい利用者を募集しています(特に児童発達支援、若干名)。対象は在宅の重症心身障がい児・者と医療的ケア児(運動機能は四つ這い程度まで)です。喀痰吸引や胃瘻からのミキサー食注入等が必要なお子さんでもご利用いただけます。お問い合わせは、通所支援担当もしくは医療福祉相談室まで。気になる方は、ぜひ一度見学にいらしてくださいね。(療育指導室長 村松 順子)

## やまばとギャラリー information

今月のギャラリー作品は「花」です。患者さんと一緒に絵の具を使って染め紙をし、お花の形に仕上げました。是非やまばとギャラリーへ足を運んで、色とりどりの素敵なお花をご覧ください。あたたかく楽しい気持ちになることができますよ。次回の展示作品もお楽しみに!(児童指導員 森 日奈子)



**今月の**  
**みえツうちゃん**

「看護師さん」と「ランドセルの小学生」のオリジナル2作品と塗り絵を応募頂きました。ありがとうございます。展示や掲載しますので、病棟や外来にある用紙に描いた作品を医療福祉相談室に、ご持参ください。どしどし、応募待っています。




みえツうちゃん